

11月講演&勉強会

令和2年スタート「新学習指導要領」で何が変わる?

- ◆主催：一般社団法人ひきこもり支援相談士認定協議会 沖縄県支部
- ◆日時：11月10日（日）13～15時（12：30～受付）
- ◆対象：どなたでも参加可能（事前予約不要）
- ◆参加費：500円
- ◆会場：八洲学園大学国際高等学校（0980-51-7711 本部町備瀬 1249）
- ◆講師：鈴木 啓之（八洲学園大学教授 博士(医学)）



【職歴】岡崎国立共同研究機構 生理学研究所、ドイツ国ハンブルグ大学 生理学研究所、茨城大学、茨城県教育庁を経て現職。

続く10年間の日本の教育を規定する学習指導要領による学校教育が令和2年度から始まります。今回の改訂は、学び方の改革「主体的・対話的で深い学び（アクティブラーニング）」が目玉となっています。

「分かる喜びや学ぶ意義を実感できない授業は児童にとって苦痛であり、児童の劣等感を助長し、情緒の不安定をもたらし、様々な問題行動を生じさせる原因となることも考えられる。（同 解説より）」との問題意識が根底にあります。また、高校教育で不登校の生徒への教育課程について新たに規定するなど要配慮児童・生徒への対応の充実を打ち出しています。

そこで今回は、改訂のねらいやポイントについて紹介し、みなさんとともにこれからの学校教育について理解を深めてゆきます。

